

◆水質事故って??

水質事故とは、河川や湖沼への廃棄物の不法投棄、機器等の破損や人為的な誤操作に起因する油類や科学物質の流出により水質に異状をきたすことをいいます。

◆どんな影響があるの??

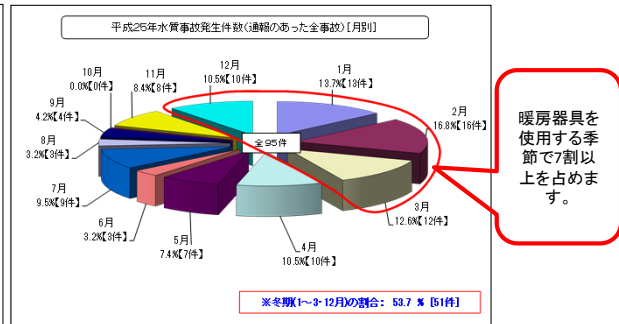
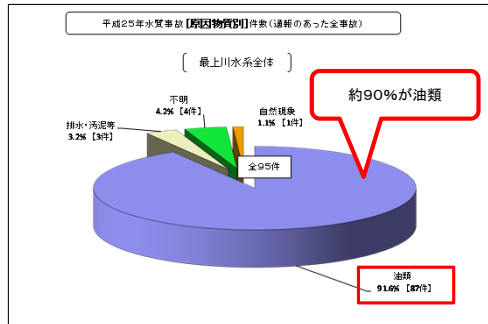
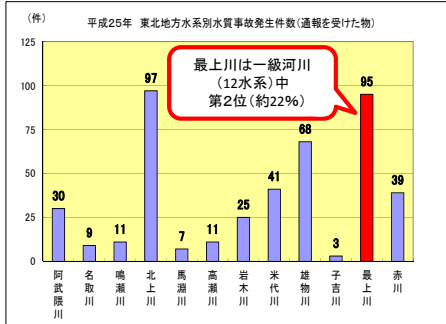
河川や湖沼の水は、様々な用途で使用されています。油やシアンなどの毒物の流出等、突発的に発生する水質事故は、大量の魚介類をへい死させたり各種用水(水道・工業・かんがい等)が取水停止となったり、市民生活等に大きな被害を与えることがあります。



川や湖にはいろんな生き物がすんでいて、また、その水は多くの人が利用しています。

◆最上川では油流出事故が多発しています ~ 水質事故の発生状況 ~

- ① 最上川は、平成25年の東北地方の一級河川(12水系)中、**水質事故発生件数**(通報を受けたもの)が**第2位**。
- ② 事故の**約90%**は**油類**で、**暖房器具を使用する時期**に集中しています。
- ③ 原因物質の殆どは「油類」であり、**人為的ミス**(**ホームタンクからの小分け中にその場を離れる等**)や**日常の点検不足**(**ホームタンクの配管損傷等**)に起因しているものが多くなっています。
- ④ **事故処理費用は原因者が負担**することになります。(河川法第67条)



水質事故事例

①油の流出事故

- 発生日時等: 平成25年7月 高島町 事業所
- 事故状況等: ボイラー燃料供給ポンプの停止を忘れ**A重油約100~200L**が漏出し、一部が水路等を経て吉野川に流出。
- 被害等: 水田に流入し一部青田刈りを実施(被害額の詳細不明)
- 事故対応: 国、県、町、消防ほかでオイルフェンスや吸着マット等により回収作業を設置して回収作業を実施。
- 原因者負担: **1,379,721円+α*** (856,296円(国)、523,425円(町))
※水田所有者への**慰謝料**や**収穫米の成分分析費用**ほか



(河川に流出した油)



(吸着マットによる油の回収)



(河川へのオイルフェンス設置)

②魚のへい死事故

- 発生日時等: 平成26年9月 立谷川(右岸:天童市高橋、左岸:山形市漆山)
- 事故状況等: 天童市高橋、山形市漆山の境界を流れる立谷川で大量の魚が死んでいるとの通報を受け、現地調査や水質分析等を実施したが、原因の特定に至らなかった。
- 被害等: 魚のへい死約500匹(カジカ、ハヤ等)
- 事故対応: 関係機関による現地調査、水質分析及へい死の拡散防止措置。
- 原因者負担: -



(へい死した小魚)



(現地調査での簡易水質分析)
※写真はイメージ



(へい死魚の拡散防止措置)

◆水質事故防止に向けた取り組み

最上川水系水質汚濁対策連絡協議会※及びその構成機関では、水質汚濁事故の防止に向けて様々な取り組みを行っています。

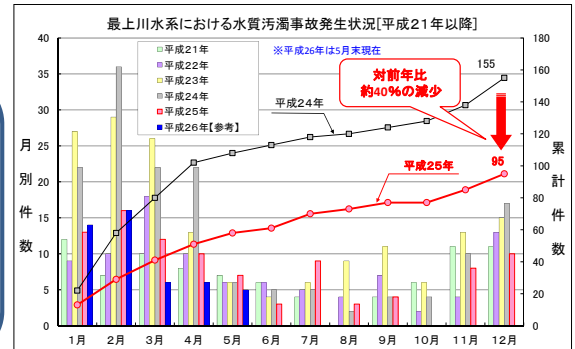
※最上川水系水質汚濁対策連絡協議会(会長 国土交通省 東北地方整備局 河川部長: 国土交通省、山形県、山形県警察本部、最上川水系に所在する32市町村、東北電力(株)で構成)は、最上川水系の河川について、河川水質汚濁対策に関する関係機関相互の連絡調整を図ることを目的として、昭和47年3月28日に設立されました。



(テレビCMによる啓発:山形河国)



(車両貼付用マグネットシート:山形河国)



水質事故を起こした場合や発見した場合は、お近くの**消防署、警察署、市町村役場、国、県の機関**等へご連絡ください。